

## あとがき

本講演録の第一章は「横浜林海実験所」開所記念対談となっております。この横浜「林海」実験所は、第二回時計台対話集会で講演いただいた天野礼子さんはじめ関係者の皆様の御尽力により、取り壊し予定であった施設を高知県から借り受けて、高知県水産試験場、高知大学大学院黒潮圏海洋科学研究科と京都大学フィールド科学教育研究センターが共同で、森から海までの教育と研究に利用する施設として、須崎市横浜半島に設置されたものです。高知県や横浜半島ともつながりのあった養老孟司さんと第二回時計台対話集会を全面的に御支援いただいた(株)村田製作所社長村田泰隆さんの対談となりま

した。御二人は無類の昆虫好きとして有名ですので、対談がどんな方向に進み、第二章とうまく溶け合うのか危惧されましたが、感性・見えないつながり・原体験の重要性、エネルギー問題や生物多様性などへの話の広がり、森里海連環の本質とも通じ、第二章の森・川・海つながりと地球社会の共存までの話題と、根底でうまくハーモニーする内容となり、貴重な講演記録になったとフィールド研一同大変喜んでおります。

第二回時計台対話集会において講演あるいは対談いただきましたC・W・ニコル・天野礼子・畠山重篤・尾池和夫ならびに司会の労をとっていただきました土田芳樹の各氏に厚く御礼申し上げます。天野礼子さんには時計台対話集会ならびに横浜林海実験所開所記念対談などの企画面で多大な御尽力をいただきました。重ねて御礼申し上げます。このような立派な講演録の作成には、サイファアソシエーツ株式会社ならびに同社長の尾崎孝一さんに全面的な御協力をいただきました。ここに慎んで御礼申し上げます。

最後になりましたが、第二回時計台対話集会の開催ならびに本講演録の発刊に御支援を賜りました(株)村田製作所に深く感謝申し上げます。

## 第2回時計台対話集会 講演録

平成18年9月15日 第1刷発行

編集・発行●京都大学フィールド科学教育研究センター  
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
TEL 075-753-6414

編集協力●サイファアソシエーツ株式会社

印刷●凸版印刷株式会社

京都大学フィールド科学  
教育研究センター

竹内典之